

科目名： 簿記 2 級入門（商業簿記）		科目コード	EK22
		単位	2
科目主査： 依田 朗裕	担当講師： 矢島 正、依田 朗裕	配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク： ☐ あり ☒ なし	個人ワーク： ☒ あり ☐ なし
日商簿記 3 級合格者または合格レベルの知識を有する者（3 級の合格を目指して本気で学習した人など）を対象にした、「<u>日商簿記検定 2 級レベル</u>の商業簿記の入門」という位置づけの科目です。一般的な「簿記入門」ではありませんのでご注意ください。テキストは日商簿記 2 級の受験対策用のテキストを用います。本スクーリングは日商簿記 3 級の知識をベースにした商業簿記の発展的な内容の概略を把握し、スクーリング修了後に日商簿記 2 級の学習を効率的に行える実力を養うことを目的とします。そのため、日商簿記 2 級の商業簿記の範囲の中から特に重要で基礎的な項目を解説し、その知識の習得を目指します。			
履修の前提となる科目	☒ あり ☐ なし	科目名： 「簿記 3 級をめざす」など簿記 3 級レベルの科目	
履修の前提となる知識 その他特記事項	簿記初学者又は日商簿記 3 級の本格的な学習経験のない方の受講はお控えください。<u>3 級に合格もしくはそれと同等の知識が「必須」</u>です。また、本スクーリングは日商簿記 2 級の合格対策講座ではなく、概略の理解と基礎知識の習得を目的とした講座です。そのため「商業簿記」のみ取り扱い、「工業簿記は」対象外です。		
テキスト	『みんなが欲しかった！簿記の教科書 日商 2 級 商業簿記』, 滝澤 ななみ, TAC出版, 最新版		
この科目の到達目標	①日商簿記 2 級の商業簿記の学習内容の概略を理解し、本スクーリング修了後、2 級の本格的な学習をスムーズに行うことができる。 ②日商簿記 2 級の商業簿記の範囲の中でも特に重要な項目である、固定資産・連結会計などの基本的な考え方を理解できる。		
成績評価の方法	個人ワークへの積極的な取り組みなど講義を受ける姿勢、最終試験の成績を総合的に評価対象とします。積極的な質問は加点対象とし、授業開始前・休憩時間明けの遅刻・講義中の居眠りなどは減点対象とします。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。		
事後学習	前述したように、今回のスクーリングは日商簿記 2 級の入門的な位置づけのため、合格に必要なインプットの 1 ～ 2 割程度しかカバーしておりません。2 級合格のためには、事後学習で今回のスクーリングで触れなかった項目をインプットし、例題を解き、過去問題集などでアウトプットの訓練を積む必要があります。さらに日商簿記 2 級には、商業簿記の 7 ～ 8 割程度のボリュームの工業簿記の分野があります。商業簿記・工業簿記のアウトプット用には下記の問題集等を参考にしてください。		
事後学習の参考文献	『合格するための本試験問題集 日商簿記 2 級』 TAC簿記検定講座, TAC出版, 最新版 『みんなが欲しかった！簿記の問題集 日商 2 級 商業簿記』 滝澤 ななみ, TAC出版, 最新版 『みんなが欲しかった！簿記の教科書 日商 2 級 工業簿記』 滝澤 ななみ, TAC出版, 最新版 『みんなが欲しかった！簿記の問題集 日商 2 級 工業簿記』 滝澤 ななみ, TAC出版, 最新版		
スクーリング受講時に用意するもの ☒テキスト ☒筆記用具 ☒√付き電卓 ☒受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 ☒学生証			